

1 提案テーマ

『特色ある教育課程の推進のために ～ 市学校教育研究会中学校総則部会の取組 ～ 』

2 学習指導要領との関連

第2 教育課程の編成

1 各学校の教育目標と教育課程の編成

教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。

3 実践に向けての課題意識

各学校の創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成及び実施に向け、グランドデザインの策定について取組を進めている。特色ある教育課程の編成及び実施に力を注ぐことができるよう、市内で共通化した方が良い点について統一する。

4 実践の概要

(1) 創意工夫を生かした教育課程の編成・実施に関して（グランドデザインの策定）

各学校において、地域の実態に応じた“創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成・実施”をすることが求められている。市学校教育研究会中学校総則部会（以下、「市教研中総則部会」という。）では、中学校ブロック内の小・中学校で共通に設定した「目指す子ども像」及び各中学校の「学校教育目標」の具現化を目指し、議論を重ねながら、各学校がグランドデザインの策定を推進できるよう、取組を続けている。

ア. グランドデザインに関する継続的な情報交換（令和元・2年度）

市教研中総則部会では、令和3年度の新学習指導要領全面実施に向け、グランドデザインの有効性や必要性について協議している。令和元年度から取組を始めたが、すでにグランドデザインを策定済みの学校や策定している途中の学校、またこれから取組を始めようとしている学校に分かれていた。令和2年度は、各学校の取組も進みつつあり、各学校で教職員が主体となって、どのような教育課程を編成していくか議論が重ねられている様子が報告された。

イ. 県教育委員会から指導主事を招き、研修会を実施（平成30・令和元年度）

平成30年度に新学習指導要領「総則」について理解を深める研修として、令和元年度に「グランドデザインを用いた学校評価の仕方」についての研修を実施した。グランドデザインを生徒・保護者・地域に提示することで、学校評価の際に学校教育目標の達成のために必要な項目・指標等を精選して設定することができるようになり、より社会に開かれた教育課程の編成へつなげられることを理解することができた。

(2) 市立中学校全校で共通化することに関して

『小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）』（30文科初第1845号平成31年3月29日）では、統合型校務支援システムの整備は勤務負担軽減に不可欠であること、そして通知表の文章記述の評価について年間を通じた学習状況をまとめて記載できることが述べられている。各中学校あるいは中学校ブロックにおいて特色ある教育課程を編成・実施していくためには、ある程度の時間的余裕が必要となる。そこで、特に学習評価及び通知表等にかかわる業務について市教研中総則部会において整理を行い、市立中学校全校で共通化できる部分を統一する取組を続けてきた。

ア. 通知表様式の統一（検討：平成30年度、実施：令和元年度）

市内小中学校においては、統合型校務支援システムが導入されており、中学校の通知表様式の統一についてはシステムの導入時に行った。そのため、令和元年度の道徳の教科化にあたり、評価に関して市内で共通理解を図る必要があった。そこで、各学校の職員会議で意見集約をしながら、市教研中総則部会での議論をすすめた。

- ・道徳科の評価は、年間を通して学年末にまとめて行う。
- ・担任による所見を学年末の年1回にすることから、面談において学期の振り返りを本人と丁寧に行うことを全校で確認した。

イ. 評価・評定にかかわる確認・点検の仕方（検討：平成30年度、実施：令和元年度）

各学校の取組が独自であり、共有されにくいという問題点があった。そこで、各学校で行っている成績業務の方法及び点検作業の方法について情報交換をしたうえで検討を重ね、市で統一した評価・評定にかかわる確認・点検の仕方のフローを作成した。

ウ. テストカード（検討：令和元・2年度）

通知表及び評価・評定にかかわる点検を統一させたことから、テストカードについても検討をしている。新学習指導要領における評価の在り方を考えたとき、どのような様式であるべきか議論をしているところである。

5 成果と課題

グランドデザイン策定への取組は、今や全市的となってきた。各学校においては、教職員が主体的に議論を重ね、グランドデザインの策定及びグランドデザインに基づいた教育課程の編成・実施とその評価を行うような風土ができつつある。今後も、各学校の強みを生かした教育を実践するため、市教研中総則部会においてグランドデザインについての議論・検討や研修会の開催をしていきたい。

一方で、通知表や評価・評定にかかわる点検方法を市全体で確認・検証することで、共通理解が図れたことは意義深い。取組の中で、評価の在り方等に関して各校で様々な意見交換ができたことも、大変価値あることであった。現在はまだ統一した内容を確認したり改善したりする作業が続いているところだが、共通化した内容の運用を軌道に乗せ、創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成・実施をより充実した形で行えるよう、整理を続けていきたい。